

行政視察報告書

委員会名（会派名）	大河の会、公明党議員団（渡邊雄三議員）	報告者	埴 豊
視察日程	令和 2 年 1 月 20 日 ~ 1 月 22 日		
調査事項 及び 視察地	① 東京都荒川区 拠点施設の在り方	荒川区立ゆいの森あらかわ	
	② 東京都千代田区 地方財政対策のポイントなど	衆議院議員会館	
	③ 東京都武蔵野市 発達支援事業	武蔵野市立みどりのこども館	
参加議員（委員）	齋藤 信行、丸山 吉朗、埴 豊、大原 伊一、渡邊 雄三		
①	【調査目的・内容】 荒川区の「拠点施設」である荒川区立ゆいの森あらかわを視察し、拠点施設について理解を深める。		
	【所感】 この施設は 2017 年 3 月にオープンした、中央図書館、吉村昭記念文学館ゆいの森こども広場が一体となった複合施設であり、令和 2 年 1 月に早くも来館者数 200 万人を達成した荒川区を代表する施設である。 図書館は蔵書数 60 万冊、800 席の座席を備えた施設として整備され、荒川区出身の吉村昭氏を記念して整備された吉村昭記念文学館では、吉村氏の書斎をそのままに移築したかのような作りになっている。こども広場では科学実験や、ワークショップが盛んに行われており賑わいがあつた。 また、災害時の帰宅困難者の受け入れや乳幼児を中心とした避難所にも活用できるように、建物は免震構造を採用しており、発電機、備蓄倉庫も備えている。荒川区の「拠点施設」として整備され、有効に活用されていることが十二分に理解できる施設であつた。		
②	【調査目的・内容】 令和 2 年度地方財政対策のポイント、日米貿易協定・日米デジタル協定の概要、自民党の憲法改正論議（経緯と現状）について。		
	【所感】 まず、令和 2 年度地方財政対策のポイントについて、総務省自治財政局調整課理事官から説明を受けた。令和 2 年度においては、一般財源総額として前年度を 0.7 兆円上回る 63.4 兆円を確保した。地方交付税総額については、前年度を 0.4 兆円上回る 16.6 兆円を確保し、臨時財政対策債を前年度から抑制したとのこと。さらに、偏在税制財源を活用した歳出の計上では、東京に集中している地方法人課税の是正措置により、地域社会再生事業費を 0.4 兆円計上したなど説明があつた。 次に、外務省北米局北米第 2 課課長補佐から日米貿易協定・日米デジタル協定の概要について説明を受けた。日米貿易協定は世界の GDP の 3 割（25.5 兆ドル）を占める、日米間の物品貿易に関する協定であり、昨年末 TPP11 を発効、昨年 2 月の日 EU・EPA の発効を背景に昨年 4 月以降、5 か月に渡る交渉で短期決着したものである。この協定は、円滑で信頼性の高い自由なデジタル貿易を促進するため整備したものと説明があつた。 次に、憲法審査会事務局次長と同総務課長から自民党の憲法改正論議（経緯と現状）の説明があり、戦後の国会における憲法論議の流れ、自民党における憲法改正論議の経緯や自民党の会見 4 項目（条文イメージ）について説明があつた。 国の動きを把握することは大切であり、市の取り組みにも生かしていく。		

【調査目的・内容】

発達支援事業について。

【所感】

③ 子どもと親の元気を応援するというテーマのもと、平成 21 年にオープンした施設であり、緑町都営第 3 団地 8 号棟の 1 階に、おもちゃのぐるりん、こども発達支援室ウイズ、地域療育相談室ハビットの 3 事業を一体的に運営する場所である。こども発達支援室ウイズ、地域療育相談室ハビットの運営は、社会福祉法人武蔵野、おもちゃのぐるりんは、公益財団法人武蔵野市こども協会が運営している。一貫した発達支援を行い、おもちゃを通して親子でのびのび遊ぶ場を提供している。

発達が気になるお子さんについて相談や支援をする施設と、おもちゃを使って遊べる施設が併設されている事業であり、運営方法について参考になった。

【視察の様子】

① 荒川区立ゆいの森あらかわ



② 衆議院議員会館



③ 武蔵野市立みどりのこども館

